

R8地域戦略人材塾 第3回(2026年6月24日) 賢く縮む-人口減少を前提としたまちづくり②-コメント

ID	本日の講義は、いかがでしたか？	本日の講義について、みなさんの業務に活かせる内容でしたでしょうか？	本日の講義で印象に残ったこと、新たな発見・新たな気づきは何かありましたか？ あった場合は、具体的にどのような点であったかを教えてください。	当塾への要望や疑問、質問、ご意見など自由に記載してください。
1	良かった	そう思う	自治体毎で同じような課題に対してもいろんな視点で事業に取り組んでいることがわかった。	
2	良かった	そう思う	ソフト面のスマートシュリンクも有効であることを知った	特になし
3	とても良かった	そう思う	縮むのは簡単であって賢く縮むというのは難しいことだと感じた。スマートシュリンクを自治体職員全員が理解し広めていく必要があると思った。	
4	とても良かった	非常にそう思う	片山様のお話がとても現代の問題を突いているので、衝撃を受けた。忖度なしに人を見ていて、その通りの社会になったらみんなが幸せに暮らせるのではないかと考えた。	
5	良かった	そう思う	どこの市町さんも同じような悩みを抱えながら業務を行っておられるのだなと思いました なかなか簡単に進むものではないですが、1歩ずつ進んでいくしかないかなと思っています	
6	良かった	そう思う	最上町さんや片山先生のお話をお聞きし、スマートシュリンクを進める上で、国県からではなく、地域にとって何が本当に大切なをしっかりと考えながら、対応していきたいと改めて感じました。	
7	とても良かった	非常にそう思う	最上町さんの「まちづくり懇談会」が印象に残りました。地域振興課として住民の方々と関わる中で、「もっと地域の声を聞いてほしい」という声をよく聞くので、そういう意見に対してこのような取り組みは効果的だと思いました。調べたところ、出前講座もやっておられるようで、「地域の声を聞きます」という姿勢を見せるだけでもかなり有効だろうなと感じました。	
8	良かった	そう思う	様々な取り組みを聞いたので良かった。 DX化を進める中で思った以上に時間がかかったり業務が増えているということが印象的だった。	
9	良かった	そう思う	学校統合が進んでいる自治体が多いと感じた。 また、他の施設についてもそれぞれの現状を踏まえた取組みを聞く事ができ良かった。	
10	とても良かった	そう思う	今回の講義で特に印象に残ったのは、スマートシュリンクを単なる施設の統廃合や行政コストの削減として捉えるのではなく、「地域に必要な機能をどう維持していくか」という視点で考えることの重要性です。当町では、令和7年4月発行の広報紙で「賢く縮む 賢くつなぐ」というキャッチフレーズを掲げ、町民の皆さんへ人口減少社会を見据えたまちづくりの方向性をお伝えしました。また、令和7年度には立地適正化計画を策定し、コンパクトで持続可能なまちづくりに向けた検討を進めています。 その一方で、今回の講義を受講して感じたのは、首長レベルではスマートシュリンクに対する意識があったとしても、それが組織全体の共通認識となり、具体的な政策や事業として十分に落とし込まれているかという点です。私自身も、スマートシュリンクという考え方が行政内部にとどまらず、町民一人ひとりにとって自分事として捉えられているのかという課題を改めて意識しました。 また、今年度は国の地方創生伴走支援制度の対象自治体となり、中心市街地の活性化などについて国の伴走支援チームと検討を進めています。しかし、現時点ではどのような方向性が最適なのか、またどのような効果につながるのかを模索している段階でもあります。 人口減少や財政制約が進む中で、地域というものは単なる人口や財政指標の集まりではなく、そこに暮らす人々の生活やつながりによって成り立っていることを改めて感じました。だからこそ、スマートシュリンクを進める上では、行政内部での意識共有だけでなく、住民との対話を重ねながら、「地域に本当に必要な機能は何か」を共に考えていくことが重要であると感じています。 広報広聴を担当する立場としても、人口や財政を単なる数字として伝えるのではなく、その背景にある地域の暮らしや人々の思いを丁寧に伝え、住民との対話の土台づくりに努めていきたいと考えています。	
11	良かった	そう思う	DX化に取り掛かっているにも関わらず職員の残業が増えるという事例を初めて知った。	スマートシュリンクについては、国や県が上から指示をする訳ではなく、自分ごととしてやらなければならないのだが、なかなか議会、内部の理解が得られないのも各市町の悩みだと思う。 現に1市町だけがスマートシュリンクを掲げて頑張っているところがあるが、議会等の理解が得られず苦慮しているようだ。 理想は近隣市町が共に取り組み、互いに相談していく方が良いのではと思う。1市町がスマートシュリンクに取り組み大成功している案件をご存知であれば参考に教えていただきたい。

ID	本日の講義は、いかがでしたか？	本日の講義について、みなさんの業務に活かせる内容でしたでしょうか？	本日の講義で印象に残ったこと、新たな発見・新たな気づきは何がありましたか？ あった場合は、具体的にどのような点であったかを教えてください。	当塾への要望や疑問、質問、ご意見など自由に記載してください。
12	とても良かった	そう思う	参加自治体の事例発表では、公共施設の統廃合などに既に取り組んでおり、様々な課題も出ているなど、どの自治体でも同じような悩みを持っているんだと感じた。 また、今までスマートシュリンクを意識して施策を展開してはいなかったが、学校・公共施設の統廃合やその他の施策も、実はスマートシュリンクの考えに沿ったものも多いということに気付かされた。	
13	とても良かった	そう思う	片山先生の講評が特に印象的でした。 特に、スマートシュリンクは周辺自治体がなかなか取り組んでいないことで、受講自治体からも意見がありますように、「国県が率先して」ということに共感できるのですが、「言われたからする、率先してする」という姿勢が少ないとお話が共感しました。 様々な事情があるので、しない(できない)言い訳をするのは人間の心理で、特に我々の業界では、先進自治体の事例を頼りで、先駆者になるのを避けているように感じます。 いきなり大きなことからスマートシュリンクではなく、小さなことからスマートシュリンクの第一歩(例えばお金をかけない業務の見直しなど)が大事なのではないかと感じました。	
14	良かった	そう思う	スマートシュリンクは縮むだけでなく、生産性を上げるという視点も大切というお話をいただきましたが、そのとおりだと思いました。様々な視点で、賢く縮めていければと思います。	行政内意識改革・業務の効率化をどう進めるかが課題となっています。DX以前の業務の洗い出しすらなかなかできていない状況にあり、成功している自治体の具体例などお聞きしてみたいです。
15	とても良かった	そう思う	業務の効率化やDX化を行う上でスマートシュリンクという言葉についてあまり浸透していない自治体が多いと感じた。ただ縮むのではなく賢く縮む大切さや、政策の工夫などまだまだ改善すべきことがあると感じた。なかなか意見を聞くことができない遠い市町村の意見も聞くことができてとても貴重な時間だった。	